



**今月の話題：**AI 革命という言葉が現れた。新聞紙上には連日、AI の文字が躍っている。30 年ほど前にはデジタル革命と称すべき変革があり、それに乗り遅れたものにデジタルデバインドと称される格差が発生したことが思い出される。AI は大量のデータから合目的最適解をデジタル操作で導き出すと理解していたら、深層学習という手段で自ら学習する手段を持ったと知って驚いた。しかし、単純なことから、考察する目的が明確でなければ、解の求めようがない。「何をどうすべきか」、それが真の課題なのだろう。(伊藤誠三)

### □ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・第 1 回拡大理事会を 2 月 13 日 (火) 18:00 サーツ会議室にて開催。2018 年度総会が 2 月 23 日 (金) 15:00 フォレスト本郷ホテルにて開催。引き続き 16:00 記念講演、続いて 17:30 懇親会が同場所にて。

・吉報：中国・重慶大学風工学について教授を務めておられる田村幸雄先生が昨年 9 月末に李克強総理、馬凱副総理より **中国政府友好奨 (Chinese Government Friendship Award)** を授与され、「中国工程院院士」の海外メンバー (外籍院士) に選出されたとの報がありました。詳細はサーツ誌次号にてお伝えします。

○次回拡大理事会：2 月 13 日 (火) 18:00～

### □ 建築部会：(岡本 直 記)

・建築部会は 12 月 20 日、1 月 16 日に開催。その内容、その後の経緯は以下の通りです。新年会を兼ね、出席者の揃ったところでビールで乾杯も行いました。

・主な報告事項

(1) 平成 30 年度寺子屋について：昨年は 5 回の寺子屋が開催しましたが、今年度の開催は未定です。早急に第 1 回目のテーマの具体案を 2 月の部会で検討します。

(2) 「モンゴルにおける既存集合住宅耐震診断・耐震補強、断熱性能向上事業計画」についてウランバートルで 9 月に実施した PC 板目地部シール改修工事の経緯観察と目地部の欠陥補修による断熱性能の効果の確認などのため、4 名のメンバーが 1/12～1/17 に現地に出張しました。

(3) 文京区から要請された耐震フェアにおけるセミナーが予定通り、下記の講演が行われました。サーツからも連日数名の方が参加し、両講師の講演を聴講しました。坂本先生、小鹿様、大変ありがとうございました。

「切迫する巨大地震とその備え (1/18 講師 小鹿氏)

「熊本地震による地震被害と木造住宅の耐震安全性の考え方」(1/19 講師 坂本先生)

・中央区開催予定の耐震フェア (2/3 土) にもセミナー協力します。現在、サーツの HP にその案内を掲載中

・その他：建築部会の新たな可能性を求め、技術相談の相手先をゼネコンに限らず枠を広げたいと思います。ストック社会への移行に伴い仕事量が増加している改修工事会社の若手技術者を対象とした勉強会を開催することも良いのではないかと、活発な意見交換が行われました。次回も引き続き、具体化に向けての検討を行う予定です。

○次回建築部会 2 月 21 日 (水) 17:30～19:00

### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・1 月の戸建住宅部会は 1 月 11 日 (木) 18 時より、松村秀一先生をお迎えして、集合住宅部会、マンション管理

組合支援事業部と 3 部会の合同部会として、各部会の報告の後、新年懇親会を開催。住宅関連 3 部会が一堂に会して部会・懇親会を行うのははじめての試みでしたが、和気藹々の内に談論風発、有意義な時間を過ごすことが出来ました。横断的な問題点を議論して共有することは今後の各部会の活動に資することが出来たと思われま

○次回部会予定：2 月 1 日 (木) 18:00～20:00

### □ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・昨年 12 月からの主力事業である“第 2 稲毛ハイツ”の再生勉強会では、暮から 3 回 (各 2 時間×3 日) の勉強会に多くの居住者が参加され、講演のあと活発な質疑応答がなされました。80 歳を超える方も多く、区分所有者としての責任感の強さを感じました。勉強会を主催した修繕委員会としてこの熱意をどのように収束に導くべきか、悩みながら我々にも提案を求めている状況です。

このように居住者意識の高いところは例外中の例外かと思いますが、こういう団地でこそ、団地再生のモデルとなる事業を実現させたいと感じます。

・公財) 建築技術教育普及センターの採択事業「郊外集合住宅団地における子育て世帯の居住ニーズ・住宅選択条件の調査」は、東京工芸大森田研究室の協力を頂き、現在 2 つの団地で実施したアンケートを分析中です。郊外の高経年マンションの居住者の超高齢化をどう緩和し、若中年層の転入を誘導することが課題ですが、その取組の成果を広く伝えることもサーツの役割と考えています。

○次回部会予定：3 月 5 日 (月) 18:00～

### □ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・前期より繰越継続 1 件及び今年度受託 5 件の支援業務が完了。その他、今期受託 5 件の支援業務が進行中です。

・来期受託目標等は、サーツ誌 75 号に掲載しました。年度を跨ぐ受託案件では管理組合役員の改選により、前期契約条件の引継ぎが理事会で正しく行われず、業務量の大幅な増加という問題が起き、決算にもずれ込む影響出ています。今後は、引継ぎ理事会に立会い、契約条件が正しく伝わるよう、部会がフォローする体制を整えようと共に、新規の契約条件内容にも細心の注意を払います。

○次回部会予定：3 月 5 日 (月) 18:00～

### □ 建築技術誌 1 月号 (12 月 17 日発売) 掲載記事

・岡本 直：科学技術と自然の匂い

・丸山和郎：「マンション管理組合支援活動の新たな展開」  
2 月号 (1 月 17 日発売) 掲載記事

・小畑晴治：古民家でのファッションショウ

・安部重孝、中野時衛：伝統建築視察旅行その 1. 鹿児島

□ 余滴：去年今年少し賢くなるもの

捷三郎